

授業科目	失語症 I (基礎)				
担当者	大西環				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

失語症の言語治療を行う上で基礎となる知識について講義を行う。

■ 到達目標

失語症と他の言語障害の違いについて説明できるようになる。
失語症状とタイプ分類について理解し、臨床の観察点とすることが出来る。

■ 授業計画

- 第1回 失語症とは 定義と障害の特徴、臨床の流れ
- 第2回 言語モデルについて
- 第3回 失語症の言語症状 流暢性と非流暢性、症状の観察
- 第4回 失語症の言語症状 発話障害 発語失行、喚語障害、錯語
- 第5回 失語症の言語症状 発話障害 新造語、ジャーゴン ほか
- 第6回 失語症の言語症状 聴覚的理解障害
- 第7回 失語症の言語症状 読み書きの障害
- 第8回 失語症のタイプ分類 ブローカ失語、ウェルニッケ失語
- 第9回 失語症のタイプ分類 伝導失語、健忘失語、全失語
- 第10回 失語症のタイプ分類 超皮質性失語
- 第11回 その他の失語症と小児の失語症
- 第12回 純粹失読、純粹失書、失読失書
- 第13回 症状の観察
- 第14回 症状の観察と記録
- 第15回 まとめと復習

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義後、必ず復習を行って次回の講義に臨むこと。専門用語は、その意味を説明できるようになることを目標に復習してください。

■ 教科書

書 名：脳卒中後のコミュニケーション障害
著者名：竹内愛子 河内十郎 編集
出版社：共同医書出版社

■ 参考図書

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。